



JA共済小・中学生
交通安全ポスターコンクール

学校教員の皆様へ



交通安全ポスターコンクール
キャラクター「ガシヨ」
©2006 JA-KYOSAI

令和4年度 JA共済 小・中学生 交通安全ポスターコンクールのお知らせ



交通事故は年々減っているものの、子どもが巻き込まれる悲しい事故は未だなくなりません。交通事故に遭わないようにするだけでなく、将来交通事故を起こさない意識を養うためにも交通ルールやマナーの知識は必要不可欠です。ルールやマナーを学び、交通安全の大切さについて考え、ポスターにして伝えることは、深い学びにつながります。このコンクールに、クラスまたは学校で取り組んでみませんか？



コンクールに 込めた思い

次代を担う小・中学生の皆さんに、「相互扶助」と思いやりの気持ちを伝えるとともに、児童・生徒の図画工作・美術教育の高揚をはかり、交通安全思想を幅広く社会に訴えることを目的として「交通安全ポスターコンクール」を開催しています。

「JA共済 小・中学生 交通安全ポスターコンクール」の特長

①これまでの応募数

約 **9,522,465** 点

並べると約5,142キロメートル

※四つ切りサイズの画用紙の長辺を約54cmとして換算

日本の全長の
(北東から西南にかけて
約3,000キロメートル)
約 **1.7倍**



②令和3年度の参加学校数

全国の小・中学校のうち

5,934 校



出典:文部科学省 令和3年度学校基本調査

③協賛・後援

省庁をはじめ、毎年多くの協賛・後援をいただいているコンクールです



令和3年度
文部科学大臣賞
新潟県 小学校5年
織原 胡桃



多摩美術大学
名誉教授
アートディレクター
中島 祥文先生

審査員長の声

交通安全のためには、気をつけるべき大切なことがいっぱいあります。それを一人ひとりが自分で考えて描くと、交通安全への気持ちをより強く持つようになりますね。そのポスターを大人が見ると、みなさんと同じ気持ちになってくれます。こうして小学生、中学生、そして大人がいっしょになって、交通安全をみんなで考えようということになります。一枚のポスターから交通安全の想いが大きく広がり、事故のない日が来ると良いですね。



文部科学省
国立教育政策研究所
教育課程研究センター
研究開発部 教育課程調査官
平田 朝一先生

後援省庁の声

このコンクールを通じて、小・中学生のみならずが交通安全のことを自分ごととして考え、身の回りの出来事や日々の生活とつなげながら表現された作品と出会うことができました。ポスターは、想いや考えたことを形や色などを使って相手に効果的に伝える表現です。今後もみなさんが、相手に伝えることを意識してポスターを描くことを挑戦されるよう願っています。



全国学校安全
教育研究会
会長
木間 東平先生

学校教員の声

交通安全教育は、単に交通ルールを指導するだけでなく、さまざまな場面における危険予測ができる能力を育てる必要があります。また、自他の生命を尊重する態度を育てることも重要です。全国の小・中学校においては、このコンクールへの児童・生徒への応募の働きかけ、指導・活動を通して、児童・生徒一人ひとりの交通安全意識を高め、危険予測能力の育成、自他の生命の尊重につながることを期待しています。さらに、このポスターが交通事故のさらなる減少につながると信じています。

今年の課題や詳しい応募方法はコチラ

交通安全を訴えるためのポスターとします。

課題

- 子ども向けまたは歩行者向けの交通安全ポスター
(児童・生徒に交通法規や規則を守らせようとするもの。)
- 運転者向けの交通安全ポスター
(自動車【農耕作業用自動車を含む】・バイク・自転車等を運転する人に交通事故の防止を呼びかけるもの。)

JA共済 コンクール 検索

<https://social.ja-kyosai.or.jp/contest/>



全国コンクールの入賞品をご紹介します。ぜひ奮ってご応募ください。

都道府県コンクールにおいて入選した各学年の最高位1点を全国コンクールで審査します。

大賞 賞状+副賞(クリスタル楕)



優秀学校賞 賞状+副賞(デジタルカメラ等)

内閣府特命担当大臣賞・農林水産大臣賞・警察庁長官賞・文部科学大臣賞、いずれかを受賞した者の在籍する学校に対して授与します。

学校賞 賞状+副賞(デジタルカメラ等)

特に交通安全ポスターコンクールに貢献のあった学校に対して授与します。その基準は「交通安全ポスターコンクール学校賞選定基準」によります。



※賞品はイメージです。